

# 夢前川のカゲロウ類

上野 哲 郎

## 1. はじめに

近年、河川の水質汚濁が大きく叫ばれ、その裏付けとしてこれら河川に住む水生昆虫の棲息状況の調査が盛んに行なわれている。姫路市及び近郊を流れる河川についても種々調査が行なわれ、その結果に対する措置も適切に行なわれている。しかしながら姫路市内を流れる夢前川については、あまり手が入られていない様に思われるので以前からこのことに関心があった筆者は、とりあえず調査できる範囲内で手を入れてみた。まだ日も浅く、十分なまとめもできないが、これを契機に一人でも多くの方に関心をもっていただければ幸いである。

今後、更に調査研究を進めていかなばならないが皆様方のご教示の程よろしく願ひいたします。

なお、調査に同行いただいた、稲田和久、柿谷幸広大前 晋、坂野慎治、松本勝由の諸氏に厚く御礼申し上げます。

## 2. 調査概要

調査場所は、夢前川5地点について行なった(図1)。調査期間は、1981年11月の1ヶ月間である。

調査方法は、スコップ、バケツ、目の細かい玉網を用い、各地点とも瀬、淵の両方で、約30分間幼虫の採集を行なった。

## 3. 採集結果

採集結果は表1のとおりである。合計6科10属22種が採集できた。

調査地点別に、環境、採集品の特徴等について述べてみる。

### ○A 地点 (坂根)

川幅約2.5m、水深30~50cm、主にスイカぐらゐの石礫底からなるが、砂底も多い。表面流速はかなり速く

扁平な形をしたヒラタカゲロウ科の個体数が多く採集できた。特にエルモンヒラタカゲロウが多かった。

### ○B 地点 (山之内)

川幅約20m、水深30~40cm、主にみかん大からスイカぐらゐの石礫底。支流、本流の合流点。表面流速は比較的ゆるやか (0.3m/sec)。マダラカゲロウ属の個体数が多数採集できた。種類数も多く、現存量はかなり多いと思われる。A地点で採集できたフタスジモンカゲロウは採集できず、モンカゲロウのみであった。

### ○C 地点 (山之内)

川幅約10m、水深20~30cm、主にみかん大の石礫底  
○表面流速0.5m/sec.かなり深い所(約2m)もある。夏はキャンプ地としてにぎわう。チラカゲロウが多数採集できた。しかし、ヒラタカゲロウ科の個体数は少ない。

### ○D 地点 (前之庄)

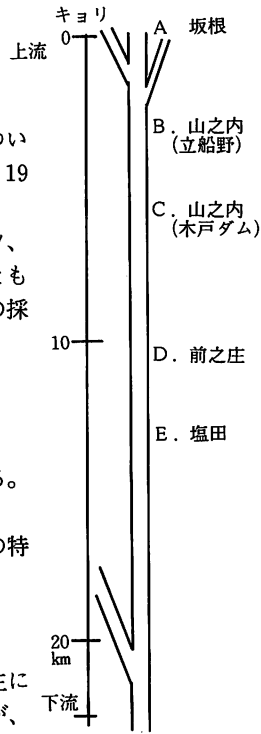
川幅約40m、水深20~40cm、みかん~すいか大の石礫底。表面流速0.6m/sec.マダラカゲロウ科が多数採集できた。種類数も多く、現存量も多いと思われる。

### ○E 地点 (塩田)

川幅約10m、水深20~30cm、みかん~すいか大の石礫底。表面流速0.3m/sec. ヒラタカゲロウ科が種類も個体数も極端に少なかった。ムスジモンカゲロウが2個体採集できた。

表 2

地点	山地流性 ↔ 平地流性
A	_____
B	_____
C	_____
D	_____
E	_____



〔図1. 調査地〕

表1. 調査地点別カゲロウ目の種類数 (1981年11月)

種名	調査地点	A	B	C	D	E
Ephemeridae モンカゲロウ科						
<i>Ephemera japonica</i>	フタスジモンカゲロウ	+				
<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ		+	+	+	+
<i>Ephemera lineata</i>	ムスジモンカゲロウ					+
Leptophlebiidae トビイロカゲロウ科						
<i>Paraleptophlebia chocatoro</i>	ナミトビイロカゲロウ	+				
<i>Paraleptophlebia</i> sp.	トビイロカゲロウ属、1種		+			
Potamanthidae カワカゲロウ科						
<i>Potamanthus kamonis</i>	キイロカワカゲロウ				+	+
Ephemerellidae マダラカゲロウ科						
<i>Ephemerella basalis</i>	オオマダラカゲロウ	+	+		+	+
<i>Ephemerella yosinoensis</i>	ヨシノマダラカゲロウ		+		+	
<i>Ephemerella rufa</i>	アカマダラカゲロウ				+	+
Baetidae コカゲロウ科						
<i>Baëtis thermicus</i>	シロハラコカゲロウ		+			
<i>Cloëon dipterum</i>	フタバカゲロウ			+		
<i>Baetiella japonica</i>	フタバコカゲロウ				+	
<i>Isonychia japonica</i>	チラカゲロウ		+	+	+	+
<i>Siphonurus sanukensis</i>	ナミフタオカゲロウ					+
Ecdyonuridae ヒラタカゲロウ科						
<i>Epeorus uenoi</i>	ウエノヒラタカゲロウ	+	+			
<i>Epeorus latifolium</i>	エルモンヒラタカゲロウ	+	+	+	+	+
<i>Epeorus napaeus</i>	タニヒラタカゲロウ		+		+	
<i>Epeorus ikanonis</i>	ナミヒラタカゲロウ		+	+		
<i>Epeorus curvaturus</i>	ユミモンヒラタカゲロウ		+			
<i>Ecdyonurus tobiironis</i>	クロタニガワカゲロウ	+	+	+		
<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	シロタニガワカゲロウ			+	+	
<i>Ecdyonurus</i> sp.	タニガワカゲロウ属の1種		+	+	+	
		6 種	13 種	8 種	11 種	8 種

調査地点 A=坂根(雪彦山) B=山之内(立船野) C=山之内(木戸ダム) D=前之庄(鹿谷橋)  
E=塩田(塩田温泉) (+)=採集を表す。

## 4. 終わりに

今回は調査不十分なため、夢前川におけるカゲロウ目の特徴を簡単に述べることはできないが、表2のように、山地流性の種から平地流性の種へ移行していると考えられる。

ところで、水質の判定にはカゲロウ目以外の水生昆虫も考慮しなくてはいけないのだが、カゲロウ目も重要な指標生物の1つなので簡単にふれてみたい。

A~D地点はヒラタカゲロウ科が多く採集できたので、“きれい”といえる。E地点は、ヒラタカゲロウ科も1種だけであり、個体数も少なかったので“や、よごれている”といえるのではないだろうか。

以上、夢前川のカゲロウ目について述べてきたが、まだまだ調査不十分なのでより詳細な調査を進めていきたい。

## 参考文献

- 津田 松 苗(1962)  
水生昆虫学 (北隆館)
- 津田松苗・森下郁子(1974)  
生物による水質調査法 (山海堂)
- 森 下 郁 子(1978)  
日本の河川 (山海堂)
- 大 沢 尚 文(1980)  
尾瀬ヶ原流水のカゲロウ類  
昆虫と自然 15(8) 42~44.

(S. 68: Teturo Ueno 姫路市 )

## アオスジアゲハの冬期の幼虫

近 藤 伸 一

1982年11月14日、自宅付近(神戸市西区)のクスにアオスジアゲハの幼虫がいたので、この時期から蛹化出来るものかどうか興味があり、持ち帰って、屋外のクスにネットをかぶせて観察した。1匹は終令幼虫で、11月26日死亡したが、もう1匹の4令幼虫は、11月23日終令となり、そのままの状態でも蛹化することもなく、1983年1月11日死亡した。秋遅く孵化した個体群は、この様に死亡してしまうものと思われるが、終令のままで1月まで生きていた例として報告する。

なお、この冬は暖かく、1月10日に初めて $-0.4^{\circ}\text{C}$ と氷点下となった。

(S.62: Shinichi Kondo 神戸市 )

フタスジカタピロハナカミキリを  
坂の谷林道で採集

吉 田 豊

1983年5月29日午前10時半頃、坂の谷林道においてフタスジカタピロハナカミキリを路端のタニウツギに訪花していたのを、ビーティングネットで叩き落して採集。

1983年7月3日午後3時頃、音水谷の伐採後地の斜面で、プロウニングカミキリを採集しましたので報告します。尚、同定につきましては、黒田収氏の多大な御助力をいただきました。

(S.34: Yutaka Yosida 西脇市 )

赤西溪谷にて  
アカネクスジトラカミキリを採集

花 岡 正

1983年12月4日、赤西溪谷にて、エゾエノキの枯れ枝よりアカネクスジトラカミキリを割り出したので報告する。

地高3m位いの樹上にほぼ水平にぶら下っていた枝で、太さは腕の太さ位だった。黒田収、吉田豊の両氏と筆者で4♂♂4♀♀の新成虫と、同カミキリの幼虫と思われる個体を3頭割り出した。当日は気温も低かったが、足を動かして少し蛹室をはい出した個体も有った。

(S.19: Tadashi Hanaoka 揖保郡太子町 )

## ズマルトラカミキリを多数採集

花 岡 正

1983年12月30日、揖保郡御津町室津で、ズマルトラカミキリをアカメガシワより多数割り出したので報告する。県下での記録報告は少なく、西播地方では初記録と思われる。ホストはこれまで、ツバキ、ウメ、ウバメガシなどが報告されているが、1984年1月3日、黒田収、吉田豊両氏と同地を訪れ、エノキ、シイ、ウンシュウミカンからも割り出し、採集数も80頭余りになった。

(S.19: Tadashi Hanaoka 揖保郡太子町 )